



誰も取り残さない船橋市へ！  
無所属・教師7年・ITエンジニア

# さこん 左近りよう通信



## ～プロフィール～

33歳。茨城大学理学部卒業。高校で物理教師として7年勤務したのち、ITエンジニアとして民間企業に勤務。3人家族。飯山満町・七林町スクールガード。

趣味：競技プログラミング、ソフトテニス、サッカー観戦。

**【重点政策】**→詳細は[noteに記載](#)

### ① 誰もが使いやすいITシステムを

若者からお年寄りまで誰もが使いやすい行政システムの構築にむけて、自身の経験を存分に生かして取り組みます。

### ② 安心安全な船橋市をいつまでも

川口市の外国人問題など、他市での治安悪化がみられます。安全とは当たり前にあるものではなく、努力して守るべきものです。犯罪のない地域づくりに向けて尽力します。

### ③ 子どもに最大の投資を

明るいまちの中心は子どもです。子育て支援金の充実・保育士の待遇アップはもちろん、育休後の社会復帰サポートにも取り組み、安心して子育てができるまちに。

### ④ 学校教育現場を疲弊させない

学校の先生は疲弊しています。教育がもっと魅力に溢れるよう、行政の立場からサポートします。

### ⑤ テレワーク推進で多様な働き方を

船橋市から東京に通勤されている方は多いと思いますが、通勤による体力消耗は決して無視できません。市内の環境整備により、共働きの時代に合った働き方を推進します。

### ⑥ お年寄りを社会から孤立させない

デジタル化は恩恵もある一方で、機器に慣れていない人を孤立させていきます。新しい知識や人とのつながりを得られる、生き生きとした老後生活を支援します。

### ⑦ 地方自治を守る

船橋市のことと船橋市民が決める、当たり前の意思決定の権利を守ります。

※今回は、[特に④⑤に関連する内容](#)を書いています。

## 【なぜ教師を辞めて、政治家を目指すのか？】

私は7年間、高等学校で教師を務めました。失敗もありましたが、担任を受け持ち、部活の顧問を担い、卒業生を多く世に送り出し、とても充実した日々を過ごさせていただきました。

しかしながら、教員の立場ではどうにもならない問題にも直面してきました。現場をサポートすることが役割であるはずの政治が、かえって先生方を疲れさせている現状に気がつきました。ようやく廃止されたものの、「教員免許更新制」はその最たるものでしょう。「やった感」を出すのが政治ではありません。



私が政治家として取り組みたいことは数えきれませんが、**基本方針は「業務をスリム化し、先生方が子どもとたくさん触れ合えるようにすること」としています。**以下は、私が取り組みたいことの一例です。詳細はいつでもメール等でお問い合わせください。

船橋市政で取り組みたいこと	国に提言していきたいこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務開始前の登校に対する問題提起</li> <li>・体育など専門性の高い科目的専科推進</li> <li>・部活動の地域移行化・大会のスリム化</li> <li>・いじめ発生時の隔離措置の刷新</li> <li>・特別な支援を要する児童の就学前支援</li> <li>・成績処理等のシステム刷新 (IT経験もふまえて、本当に先生が欲しいものに)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアパスポート制度の見直し</li> <li>・給食指導を勤務時間扱いに</li> <li>・いい加減、「魅力発信」の次へ進みましょう</li> <li>・いい加減、「実態調査」の次へ進みましょう</li> <li>・先生がほしいからといって、労働環境から目をそらし、採用試験を簡単にするのは本当にやめてください</li> </ul>

## 【船橋市は、リモートワークをもっと推進できるまちです】

リモートワーク(テレワーク)とは、各地に分散して出社し、チャットやビデオ通話を使って行う業務の総称です。 多忙な現代社会において、通勤時間を短縮できる働き方を魅力に感じる方は多いでしょう。

コロナ禍により半ば強制的に始まったリモートワークですが、始めのうちは「労働者側の通勤カット」「企業側のオフィス固定費削減」という双方良しの施策であると考えられてきました。しかし今では、再度社員を出社させる流れになっています。その理由もまた単純明快で、「社員間のコミュニケーションがとれず、業績が悪化した」というものでした。(残念ながらモチベーション低下との指摘も…)

上記のような流れになってしまうのは、ある意味で仕方のないことかもしれません。企業が業績アップを目指すのは当然だからです。しかし、政治の主体は「船橋市」。業績ではなく、「市民のみなさまの、幸福な暮らしを追求する」ことがミッションです。リモートワーク推進を進めるための力ギは企業のメリットです。私としては、在宅勤務補助金やサテライトオフィス事業の導入を、企業・自治体・労働者の、三者の要求を満たす政策として提案しています。



施策	企業のメリット	自治体のメリット
在宅勤務補助金	・採用力の強化、社員への金銭的メリット	・埼玉や神奈川のベッドタウンに対する競争力アップ=人口増
サテライトオフィス事業	・仕事の質を確保しつつ、社員の満足度アップが見込める	・市内の消費拡大による税収増



駅立ちを始めて4ヶ月  
話しかけてくださる方も  
おり大変勉強になります